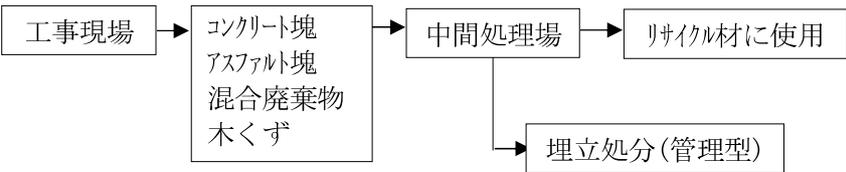


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

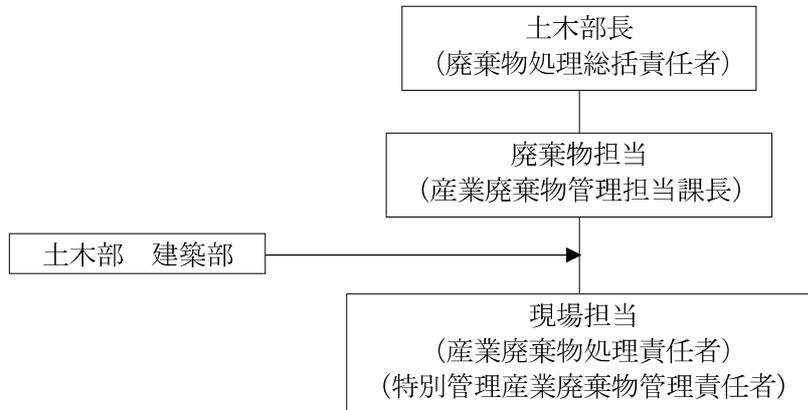
(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 2年 4月16日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者</p> <p>住 所 愛知県西尾市法光寺町西田23番地</p> <p>氏 名 丸洋建設株式会社</p> <p>代表取締役 稲垣和秀</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 0563-54-7412</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	丸洋建設株式会社
事業場の所在地	愛知県西尾市法光寺町西田23番地
計画期間	令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高(百万円) 2,226
③従業員数	54人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre>graph LR; A[工事現場] --&gt; B[コンクリート塊 アスファルト塊 混合廃棄物 木くず]; B --&gt; C[中間処理場]; C --&gt; D[リサイクル材に使用]; C --&gt; E[埋立処分(管理型)];</pre>

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（平成31年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用が可能な廃棄物の再生利用促進。 不要資材を現場に搬入しない。 発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、従業員に定期的に教育・研修を行う。		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に引き続き、再生利用が可能な廃棄物が多いので本年度も廃棄物の再生利用促進を進め、従業員への教育・研修を行う。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 修繕・改築等の小規模工事に混合廃棄物の発生が多いため、現場内に種類別のゴミ箱を置き分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今年度も引き続き、現場内に種類別のゴミ箱等を置き、分別を徹底して減量化に努めたい。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	<b>【前年度（平成31年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	<b>【前年度（平成31年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	該当なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 愛知県の産業廃棄物処理業者一覧を活用して処理業者の選定し、再生利用業者を利用出来る廃棄物に関しては利用し、減量化に努めている。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 分別を徹底し、再生利用業者を利用出来る廃棄物に関しては利用し、 減量化に努める。</p>		
※事務処理欄			

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
現状及び目標	表 1 産業廃棄物発生量に関する現状及び目標 (単位: t/年)		
	産業廃棄物の種類	現 状	目 標
		平成31年度	令和2年度
	石綿含有産業廃棄物(Pタイル)	0.03	0
	汚泥	16.91	0
	汚泥 (炭素)	0.02	0
	紙くず	0.15	0
	ガラス・陶磁器くず	41.8	29
	がれき類 (アスファルト)	929.01	650
	がれき類 (コンクリート)	790.46	550
	がれき類 (その他)	12.08	0
	木くず	135.55	95
	金属くず	5.22	0
	混合物	267.64	187
	廃プラスチック類	9.82	6
合 計	2,208.69	1,517	







